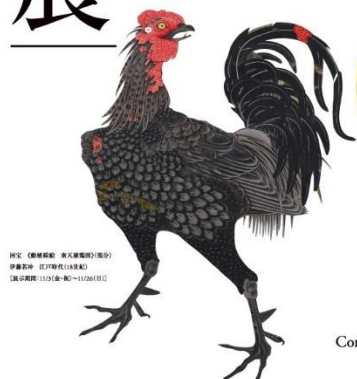


# 開館記念展

# 皇室のみやび —受け継ぐ美—



所文（熊鷹朝冠）所文（熊鷹朝冠）（部分）  
伊勢神宮 北27号（18世紀）  
【展示期間】11/3（金）～11/23（日）



《金器金器（部分）》  
十二代徳川家 寛政26年（1815）  
【展示期間】11/3（金）～11/23（日）

Commemorating the Opening of The Museum of the  
Imperial Collections, Sannomaru Shozokan

## The Aesthetics of the Imperial Court

Beauty Passed Down through the Ages



《琵琶（部分）》  
徳川家 北27号（18世紀）  
【展示期間】11/3（金）～11/23（日）



東京文化財 〔東京文化財〕  
徳川家 北27号（18世紀）  
【展示期間】11/3（金）～11/23（日）



《鶴（部分）》  
鳥羽神社蔵 明治39年（1906）  
【展示期間】11/3（金）～11/23（日）

—令和5年 11月3日（金・祝）— —令和6年 6月23日（日）—

## 皇居三の丸尚蔵館

The Museum of the Imperial Collections, Sannomaru Shozokan



日時指定予約制  
ご来館前に日時指定予約をお願いします。

展覧会特設ページ

<https://pr-shozokan.nich.go.jp/miyabi/>

- 第1期：三の丸尚蔵館の国宝 令和5年11月3日（金・祝）—12月24日（日）  
第2期：近代皇室を彩る技と美 令和6年1月4日（木）—3月3日（日）  
第3期：近世の御所を飾った品々 令和6年3月12日（火）—5月12日（日）  
第4期：三の丸尚蔵館の名品 令和6年5月21日（火）—6月23日（日）
- 第1期は会期中、一部展示替えあり  
出品作品はすべて皇居三の丸尚蔵館蔵  
会場：第1期は展示室1、  
第2期は展示室1・2
- National Treasures of Sannomaru Shozokan November 3–December 24, 2023  
The Beauty and Techniques of Artworks of the Imperial Court in the Modern Era January 4–March 3, 2024  
Artworks that Adorned the Early Modern Imperial Palaces March 12–May 12, 2024  
Selected Masterworks of Sannomaru Shozokan May 21–June 23, 2024

## 開催趣旨

本展は、今年 11 月に開館 30 年を迎える<sup>さんのまるしょうぞうかん</sup>三の丸尚蔵館が、令和という新たな時代に、装いを新たに「皇居三の丸尚蔵館」として開館することを記念して開催するものです。

約 8 ヶ月にわたって開催する本展では、「皇室のみやび」をテーマに、当館を代表する多種多彩な収蔵品を 4 期に分けて展示します。第1期では、国宝・<sup>おののみちかぜ</sup>小野道風《<sup>びょうぶ</sup>屏風土代》、国宝・<sup>もうこしゅうらいえことば</sup>《蒙古襲来絵詞》など、近年指定された国宝 4 件を公開します。第2期では、重要文化財・<sup>うんのしょうみん</sup>海野勝珉《<sup>らんりょうおうおきもの</sup>蘭陵王置物》、<sup>よこやまたいかん</sup>横山大観《<sup>ひいづるところにほん</sup>日出処日本》といった、近代日本のすぐれた美術工芸品のほか、明治・大正・昭和の天皇皇后ゆかりの品々をご紹介します。第3期では、国宝・<sup>ふじわらのさだいえ</sup>藤原定家《<sup>さらしなにつぎ</sup>更級日記》など、近世までに京都御所や宮家などに伝えられてきた品々を、そして第4期では、国宝・<sup>かのうえいとく</sup>狩野永徳《<sup>からじしずびょうぶ</sup>唐獅子図屏風》、国宝・<sup>いとうじゃくちゅう</sup>伊藤若冲《<sup>どうしょくさいえ</sup>動植綵絵》といった、皇室にもたらされた数々の名品を公開します。

これらは、いずれも皇室に受け継がれてきた貴重な品々です。本展を通じて、長い歴史と伝統の中で培われてきた皇室と文化の関わり、そしてその美に触れていただければ幸いです。

※出品作品は全て国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)の作品です。

## 本展覧会の3つの見どころ

1. 新しく生まれ変わった皇居三の丸尚蔵館の施設で、皇室に受け継がれてきた多種多彩な品々を4期に分けてご紹介！
2. 国宝・《蒙古襲来絵詞》、国宝・狩野永徳《唐獅子図屏風》、国宝・伊藤若冲《動植綵絵》(全 30 幅のうち 12 幅)など、当館を代表する名品を多数公開！
3. 若冲だけじゃない！明治・大正・昭和の天皇皇后の日常をしのばせる品々など、初公開となる作品も！

## 皇居三の丸尚蔵館について

三の丸尚蔵館は、平成元年(1989)に上皇陛下と香淳皇后により、皇室に代々受け継がれた美術品が国に寄贈されたことを機に、その保存と研究、公開を目的として、平成 5 年(1993)11 月に皇居東御苑内に開館しました。館名の「尚蔵」は、古代律令制において蔵司の長官「くらのつかさ」をさし、大切に保管するという意味を持ちます。また旧江戸城三の丸の地に建設されたことに由来して「三の丸尚蔵館」と名付けられました。

当館の収蔵品は、各時代を代表する名品が多く含まれており、日本を中心とする東洋の美術工芸品のほか、幅広い時代、地域、分野の品々がみられることが特長です。

当館は、令和 5 年(2023)11 月に開館 30 年を迎えます。これまで、時代や分野、各作品の主題などからテーマを選び、90 回の展覧会を開催してきました。また、天皇陛下の御即位や両陛下の御成婚を記念する特別展、そして海外との交流展などを 16 回開催し、皇室と文化の関わりについて、その紹介と普及に努めてきました。

令和元年(2019)からは、収蔵庫と展示室を拡充し、より充実した活動を行うために、新たな施設の建設が進められているとともに、本年 10 月には管理・運営が宮内庁から独立行政法人国立文化財機構へ移管され、同年 11 月より「皇居三の丸尚蔵館」の名称で開館します。

### 開催概要

|                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 名 称                                                                                                                                                                                            | 皇居三の丸尚蔵館 開館記念展「皇室のみやびー受け継ぐ美ー」                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 会 期                                                                                                                                                                                            | 令和 5 年(2023)11 月 3 日(金・祝)～令和 6 年(2024)6 月 23 日(日)<br>第 1 期:「三の丸尚蔵館の国宝」 令和 5 年 11 月 3 日(金・祝)～12 月 24 日(日)<br>【同時開催】特別展示「御即位5年・御成婚 30 年記念 令和の御代を迎えて一天皇皇后両陛下が歩まれた 30 年」もあわせてご覧いただけます。<br>第 2 期:「近代皇室を彩る技と美」 令和 6 年1月4日(木)～3月3日(日)<br>第 3 期:「近世の御所を飾った品々」 令和 6 年3月12日(火)～5月12日(日)<br>第 4 期:「三の丸尚蔵館の名品」 令和 6 年5月21日(火)～6月23日(日)<br>※第 1～3 期は会期中、一部展示替えあり |
| 休 館 日                                                                                                                                                                                          | 毎週月曜日(ただし月曜が祝日または休日の場合は開館し、その翌平日休館)<br>12 月 25 日(月)～令和 6 年 1 月 3 日(水)および展示替え期間・その他諸事情により臨時に休館する場合があります                                                                                                                                                                                                                                              |
| 開 館 時 間                                                                                                                                                                                        | 午前 9 時 30 分～午後 5 時(入館は午後 4 時 30 分まで) ただし、11 月 7 日(火)は午後4時に閉館                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 入 館 料                                                                                                                                                                                          | 一般 1,000 円、大学生 500 円<br>※「皇室のみやび」展の展覧会図録と一般入館料がセットになった「図録(みやび展)付きチケット」(2,500 円)も販売。その他、解説付きの鑑賞チケットも提供予定(詳細は後日ウェブサイトに掲載)。<br>※高校生以下及び満 18 歳未満、満 70 歳以上の方は無料。入館の際に年齢のわかるもの(生徒手帳、運転免許証、マイナンバーカードなど)をご提示ください。<br>※障がい者手帳をお持ちの方とその介護者各 1 名は無料。<br>※事前に日時指定予約をお願いします。                                                                                     |
| 作 品 件 数                                                                                                                                                                                        | 第1期:4件(14 点)、第2期:約 60 件(100 点)、第3期:約 35 件(43 点)、第4期:約 13 件(27 点)                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 主 催                                                                                                                                                                                            | 皇居三の丸尚蔵館                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 会 場                                                                                                                                                                                            | 皇居三の丸尚蔵館 第 1 期:展示室 2、第 2 期～第 4 期:展示室 1・2<br>(〒100-0001 東京都千代田区千代田1-8 皇居東御苑内)<br>[皇居三の丸尚蔵館ウェブサイト] <a href="https://shozokan.nich.go.jp/">https://shozokan.nich.go.jp/</a>                                                                                                                                                                            |
| お問い合わせ                                                                                                                                                                                         | 050-5541-8600(ハローダイヤル)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| U R L                                                                                                                                                                                          | [展覧会特設ページ] <a href="https://pr-shozokan.nich.go.jp/miyabi/">https://pr-shozokan.nich.go.jp/miyabi/</a>                                                                                                                                                                                                                                              |
| 【報道に関するお問い合わせ】<br>皇居三の丸尚蔵館広報事務局(共同 PR 内) 担当:三井<br>〒104-0045 東京都中央区築地 1-13-1 銀座松竹スクエア 10 階 TEL: 03-6264-2382 E-mail: <a href="mailto:shozokan-pr@kyodo-pr.co.jp">shozokan-pr@kyodo-pr.co.jp</a> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

## 第1期 三の丸尚蔵館の国宝

令和5年11月3日(金・祝)～12月24日(日)

前期:11月3日(金)～11月26日(日) 後期:11月28日(火)～12月24日(日)

「世界文化の見地から価値の高いもので、たぐいない国民の宝たるもの」である国宝。これらは学術、そして文化史的にも極めて重要な作品であるのはもちろんのこと、長い日本の歴史のなかで培われてきた美の結晶ともいえるものです。皇居三の丸尚蔵館 開館記念展の最初を飾る第1期では、近年指定された当館収蔵の国宝8件のなかから4件の作品をご紹介します。



広報画像 1-1 国宝《<sup>もうこしゅうらいえいことば</sup>蒙古襲来絵詞》後巻(部分) 鎌倉時代(13世紀) 皇居三の丸尚蔵館収蔵 [展示期間:11/3～12/24(半期巻替)]



広報画像 1-2 国宝《<sup>びょうぶどだい</sup>屏風土代》(部分) <sup>おののみちかぜ</sup>小野道風  
平安時代 延長6年(928) 皇居三の丸尚蔵館収蔵  
[展示期間:11/3～12/24(半期巻替)]



広報画像 1-3 国宝《<sup>かすがごんげんげんきえ</sup>春日権現験記絵》巻十二(部分) <sup>たかしななかかね</sup>高階隆兼  
鎌倉時代 延慶2年(1309)頃 皇居三の丸尚蔵館収蔵  
[展示期間:11/3～11/26]



広報画像 1-4

国宝《<sup>どうしよくさいえ</sup>動植綵絵 南天雄鶏図》  
[展示期間:11/3～11/26]



広報画像 1-5

国宝《<sup>ろうしゅうはくほうず</sup>動植綵絵 老松白鳳図》  
[展示期間:11/3～11/26]



広報画像 1-6

国宝《<sup>ばいこうず</sup>動植綵絵 貝甲図》  
[展示期間:11/28～12/24]

<sup>いとうじゃくちゅう</sup>伊藤若冲 江戸時代(18世紀) 皇居三の丸尚蔵館収蔵

【同時開催】特別展示「御即位5年・御成婚30年記念 令和の御代を迎えて一天皇皇后両陛下が歩まれた30年」もあわせてご覧いただけます。

## 第2期 近代皇室を彩る技と美

令和 6 月 1 月 4 日(木)～3 月 3 日(日)

前期:1 月 4 日(木)～2 月 4 日(日) 後期:2 月 6 日(火)～3 月 3 日(日)

皇居三の丸尚蔵館の収蔵作品には、明治時代以降に宮中において室内装飾として使用された美術工芸品類が含まれています。なかでも、明治 22 年(1889)に大日本帝国憲法発布式が行われた場所でもある明治宮殿を飾った作品は、当時の著名な作家が最高の技術を凝らしたものです。第2期では、それらの作品とともに御即位や大婚 25 年(銀婚式)など皇室の御慶事を契機として制作された作品、さらに明治・大正・昭和の三代の天皇皇后にゆかりのある品々をご紹介します。



広報画像 2-1 《昭和度 悠紀地方風俗歌屏風》川合玉堂



昭和 3 年(1928) 皇居三の丸尚蔵館収蔵 [展示期間:2/6～3/3]



広報画像 2-2 《日出 処日本》横山大観 昭和 15 年(1940)  
皇居三の丸尚蔵館収蔵 [展示期間:1/4～3/3]



重要文化財 《蘭陵王置物》海野勝珉  
明治 23 年(1890) 皇居三の丸尚蔵館収蔵  
[展示期間:1/4～3/3]



広報画像 2-4 《銀製御髪ブラッシ》瀧池美術店 明治～大正時代(20 世紀)  
皇居三の丸尚蔵館収蔵 [展示期間:1/4～3/3]



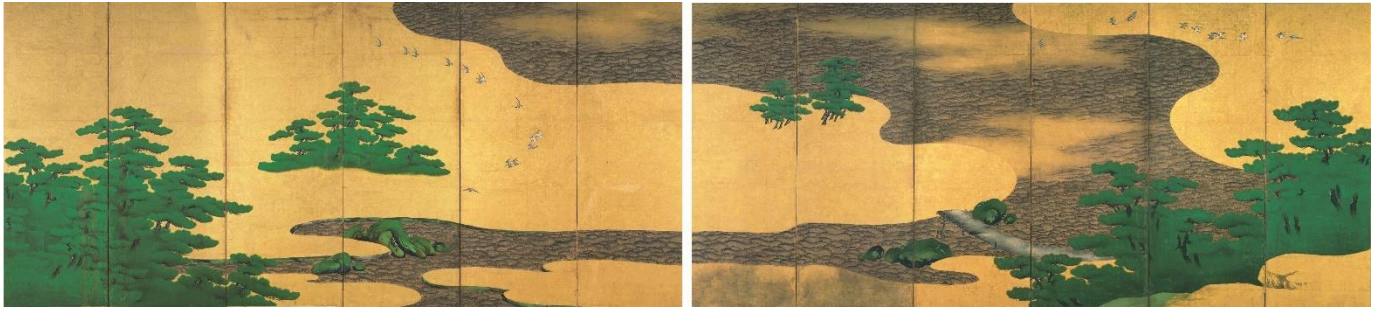
広報画像 2-5 《熊坂長範》森川杜園 明治 26 年(1893)  
皇居三の丸尚蔵館収蔵 [展示期間:1/4～2/4]

## 第3期 近世の御所を飾った品々

令和6年3月12日(火)～5月12日(日)

前期:3月12日(火)～4月7日(日) 後期:4月9日(火)～5月12日(日)

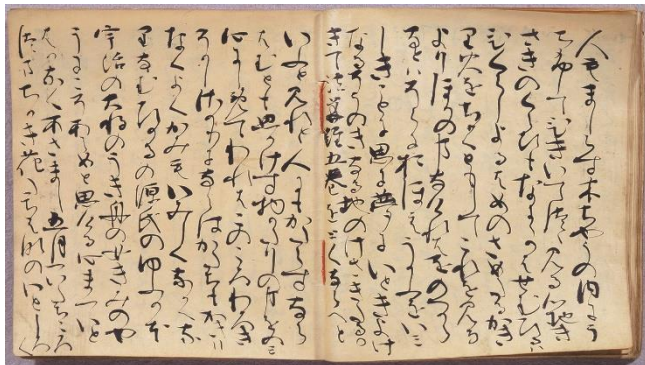
歴代の天皇は、学問をはじめ文化芸術に造詣が深く、それらの保護にも熱心でした。そのため各時代にさまざまな品々が集積され、大切に受け継がれてきました。第3期では、国宝・藤原定家《更級日記》など、「御在来」と称される京都御所に伝来した作品を中心に、近世の御所や離宮、あるいは各宮家を飾った品々をご紹介します。



広報画像 3-1 《<sup>はまつず びょうぶ</sup>浜松図屏風》<sup>かいほうゆうしやう</sup>海北友松 桃山時代 慶長10年(1605) 皇居三の丸尚蔵館収蔵 [展示期間:4/9～5/12]



広報画像 3-2 《<sup>げんじものがたり ず びょうぶ</sup>源氏物語図屏風》(右隻) <sup>かのうえいとく</sup>伝狩野永徳 桃山時代(16～17世紀) 皇居三の丸尚蔵館収蔵 [展示期間:3/12～4/7]



広報画像 3-3 国宝《<sup>さらしなにつき ふじわらのさだいえ</sup>更級日記》藤原定家 鎌倉時代(13世紀)  
皇居三の丸尚蔵館収蔵 [展示期間:3/12～5/12(半期頁替)]



広報画像 3-4 《<sup>びわ めい あさひ とくがわなりあき</sup>琵琶 銘 旭》徳川齊昭 江戸時代 嘉永7年(1854)  
皇居三の丸尚蔵館収蔵 [展示期間:4/9～5/12]

## 第4期 三の丸尚蔵館の名品

令和 6 年 5 月 21 日(火)～6 月 23 日(日)

明治時代以降、御慶事や行幸などの折にふれ、皇室へ美術品の献上が行われました。また、皇室に納めることで、美術品が長く遺されることを願って献上されることもありました。そのようにして献上された品々のなかには、美術的な価値が高い品も少なくありません。開館記念展を締めくくる第4期では、国宝・狩野永徳《唐獅子図屏風》など、献上された品を中心に、当館を代表する名品の数々を紹介します。

広報画像 4-1

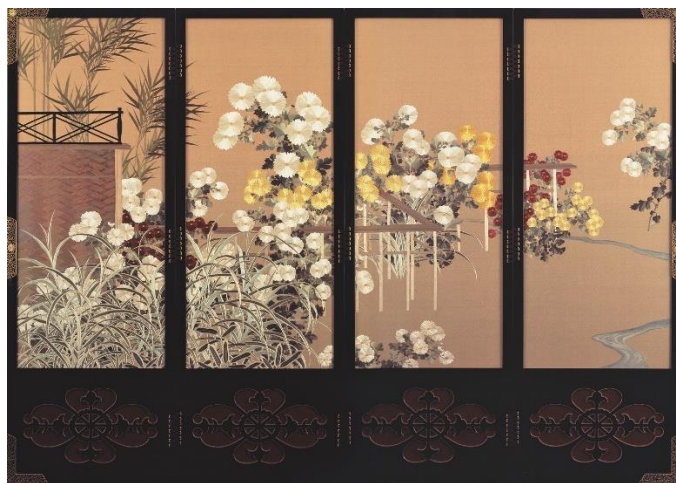
国宝 <sup>からじしずびょうぶ</sup>《唐獅子図屏風》(右隻)

<sup>かのうえいとく</sup>狩野永徳 桃山時代(16 世紀)  
皇居三の丸尚蔵館収蔵  
[展示期間: 5/21～6/23]



広報画像 4-2

<sup>そうけいおきもの</sup>《双鶏置物》 <sup>としまこうふ</sup>戸島光孚 ほか 大正 5 年(1916) 皇居三の丸尚蔵館収蔵  
[展示期間: 5/21～6/23]



広報画像 4-3

<sup>かんでいめいかく</sup>《閑庭鳴鶴・九重ノ庭之図刺繍屏風》 <sup>たかしまやごふくてん</sup>高島屋呉服店 昭和 3 年(1928) 皇居三の丸尚蔵館収蔵 [展示期間: 5/21～6/23]

### 【報道に関するお問合せ】

皇居三の丸尚蔵館広報事務局(共同 PR 内) 担当: 三井

〒104-0045 東京都中央区築地 1-13-1 銀座松竹スクエア 10 階

TEL: 03-6264-2382 E-mail: [shozokan-pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:shozokan-pr@kyodo-pr.co.jp)